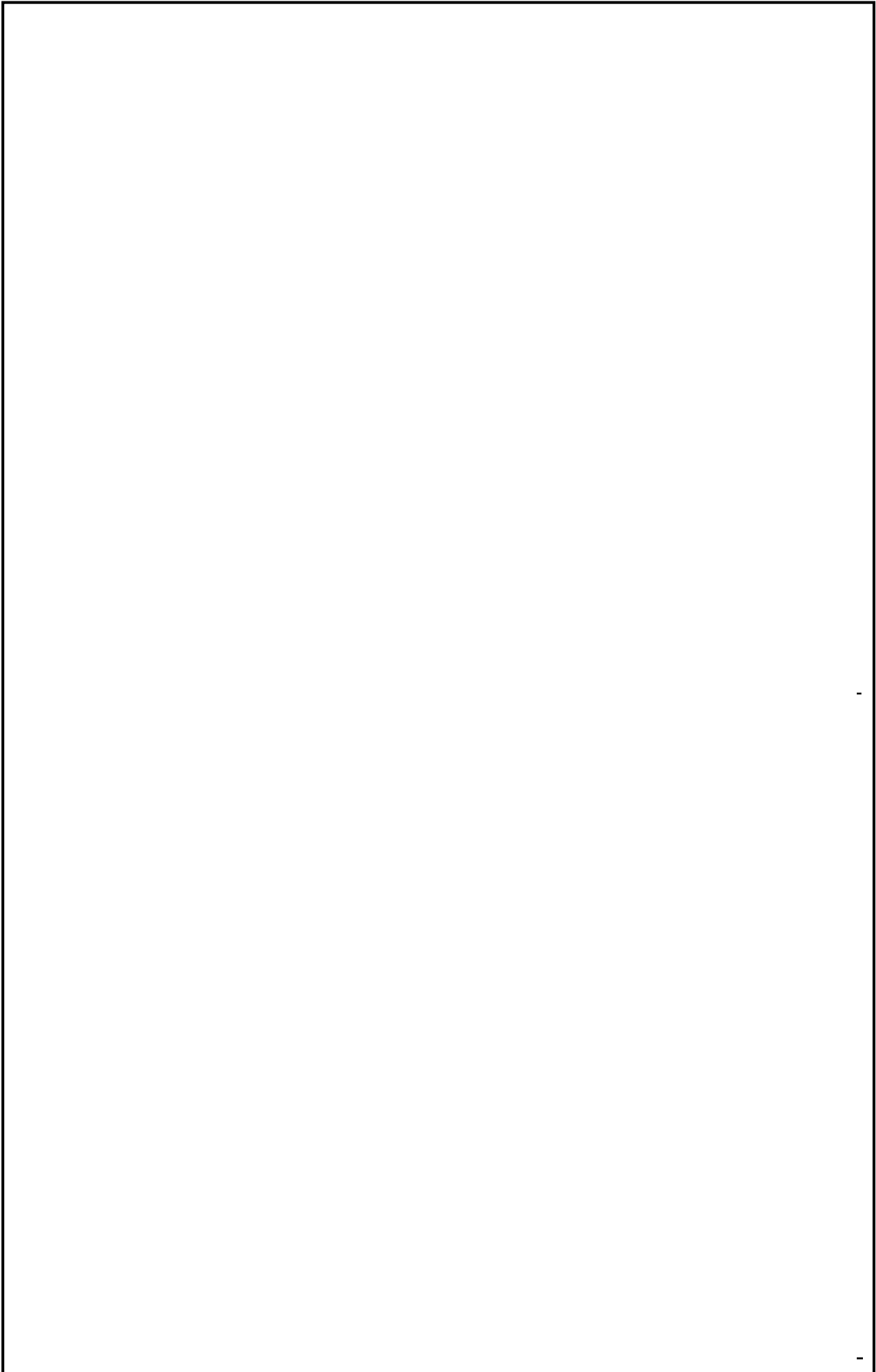


2

内村さんのクラスでは、物語を読んで、好きな場面をしようかいし合う学習をしています。次の物語を読んで、あとの問いに答えましょう。

緒島 英二  
「海の光」による。



一 線部アと 線部イの文の主語にあたるものを、それぞれ一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

ア おじいちゃんが、  
1 じっと  
2 ぼくを  
3 見た。  
4

イ トマトの  
1 根っこに、  
2 ぼくたちは  
3 そつと  
4 土を  
5 もった。  
6

二 次の 線部AとDを読み、漢字の読みはひらがなで、ひらがなは漢字で書きましょう。

・貝拾い<sup>A</sup>      ・おもたい<sup>B</sup>      ・電灯<sup>C</sup>      ・びょう院<sup>D</sup>

三 線部ウの「目をまん丸にして」と同じような意味を表す言葉を次の1から4までの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- 1 目を細めて
- 2 目を見はって
- 3 目をくぼって
- 4 目をつけて

四 内村さんは、好きな場面をしようかいするために、好きな場面とその理由を、次のようにまとめています。この場面は、本文中の [エ] の部分をもとめたものです。 [エ] の中に入る言葉を八字で書きましょう。

好きな場面	好きな理由
<p>あらしがおさまって、朝、畑に出ると、トマトがたおれそうになりながら、それでもちゃんと</p> <div data-bbox="199 215 308 1010" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 10px;">エ</div> <p>場面。</p>	<p>ふんばっているトマトを見て、 「トマトなんてどうでもいいよ。早くして。」 と言っていたふみやが、 「本当だ。あんなに強い風だったのに、よくがんばったね。」 とトマトにやさしい言葉をかけているところが心にのこったから。</p>

五 内村さんは、「登場人物」の気持ちの変化について、次のようにまとめています。【おわりの気持ち】をどのように書いたと考えられますか。

○ **オ** の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましよう。

- 〈条件〉
- 【はじめの気持ち】の書き方に合わせて、会話を引用して書くこと。
  - 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内（句読点はふくむ）にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

【はじめの気持ち】（赤ちゃんが生まれる前）

おじいちゃんに「どうでもいいよ。赤んぼうなんて。」と言って、赤ちゃんが生まれることをすなおによるこべない気持ち。

【ふみやの気持ちが変わった出来事や様子】

夜光虫が光る様子やあらしの中でもふんばっていたトマトの様子から、どんな小さな命でも一生けん命に生きていて、どうでもいいものなんか、どこにも一つもないということに気づいたから。

【おわりの気持ち】

（弟の一才のたん生日）

生まれたばかりの小さな弟の手が、ぼくの指を力強くにぎってはなさない様子から、トマトと同じように一生けん命生きていることに気づいたから。

しがみついてきた弟に

オ

気持ち。